

令和4年度

第3回神埼市地域公共交通会議・第4回神埼市地域公共交通活性化協議会

- 開催日時 令和5年3月20日（月）10時00分～11時30分
- 開催場所 神埼市役所 3階大会議室
- 出席者 [委員] 岸川政晴（区長会）、八谷好弘（区長会）、重松美文（民生児童委員）、馬場崎安則（老人クラブ）、吉原俊樹（神埼町住民代表）、佐藤悦子（千代田町住民代表）、實松英治（脊振町住民代表）、小山淳也（ジョイックス交通）、岡本卓也（西鉄バス）、江上康男（佐賀県バスタクシー協会）、津留崇明（佐賀運輸支局）、宮崎厚志（東部土木事務所）、鷺崎文徳（神埼警察署）、嶋耕二（市産業建設部長）、中島勝利（市総務企画部長）

計15名出席

[事務局] 音成栄志、安陪邦勇

- 傍聴人 なし

- 会議次第

- 1 開会

- 2 報告

- (1) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
- (2) 佐賀県コミュニティ移動快適サポート事業について
- (3) さがバスまるっとフリーDAYの実施状況について

- 3 講演

- (1) 地域公共交通の現状と課題について

講師 有限会社ジョイックス交通

代表取締役 小山 淳也 様

講師 西鉄バス佐賀株式会社

取締役営業本部長 岡本 卓也 様

- 4 議題

- (1) 令和5年度事業計画（案）について
- (2) 令和5年度歳入歳出予算（案）について

- 5 その他

- (1) 認知症にやさしいまちづくり事業について
- (2) 吉野ヶ里町デマンド型乗合タクシーの指定施設設置について

- 6 閉会

※ 上記の会議録の内容は別紙のとおり

会議録

1 開会

2 報告

(1) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

事務局 説明。

事務局 質疑を求める。

委員 事業評価に係る事務局説明の補足であるが、協議会自身が行う一次評価のほか、九州運輸局内に設置された第三者評価委員会における二次評価を経て、事業主体に評価結果をお示しするとともに、次期計画等への反映をお願いするものである。

委員 なお、第三者評価委員会については先月開催されたところである。

(2) 佐賀県コミュニティ移動快適サポート事業について

事務局 説明。

事務局 質疑を求める。

委員 県事業の活用に際し、バスロケーションシステムの導入など、住民の皆さまへの周知方法はどのようにお考えか。

事務局 バス利用者の皆さまに対しては、バス車内や各バス停への案内文書掲示により周知を図るとともに、住民の皆さまに対しては市報、市ホームページやダイヤ改正時に発行するパンフレットなど、段階に応じて周知を図る計画としている。

(3) さがバスまるっとフリーDAYの実施状況について

事務局 説明。

- 事務局 質疑を求める。
- 委 員 さがバスまるっとフリーDAYの実施状況について補足であるが、地域間輸送（路線バス）の場合、区間制運賃が中心であり、遠出すればする程無料化の実感が得られることもあり、多くのお客様にご利用を頂いた印象である。
- 委 員 次に、地域内輸送（コミュニティバス）の場合、均一運賃で人々安価に設定されていることもあり、無料化が必ずしも利用のきっかけにならなかつたように見受けられる。
- 委 員 県としては、2月まで含めた事業効果を引き続き検証するとともに、機会があれば報告させて頂きたい。また、さがバスまるっとフリーDAYは来年度も実施する計画であるため、委員各位も機会があれば是非ご利用を頂きたい。

3 講 演

（1）地域公共交通の現状と課題について

- 事務局 説明。
- 講 師 講演。
- 事務局 折角の機会でもあるので、講演内容について質疑などあれば伺いたい。
- 委 員 昨年発生した通学バスの車両事故に関連し、路線バスの安全確保に向けて、シートベルト着用の呼びかけなど実施されているか。
- 講 師 昨年発生した事故については、相手車両が中央線を越えてきた事に起因するもので、民事上は過失なしとして処理されたところであるが、当該車両にはシートベルトが設置されており、乗客である児童生徒への被害を受け、シートベルト着用の呼びかけについてより一層取り組む必要性を社内で共有しているところである。
- 講 師 講演。
- 事務局 折角の機会でもあるので、講演内容について質疑などあれば伺いたい。

委 員 所用でよく北九州に行くことがあるが、無人の鉄道駅前にバス停があり、到着時刻に併せてバスが停車しているものの、ぱっと見ただけでは目的地に向かえるのか分かりづらいと感じる。先程紹介があった「my route」などが普及すれば、このような疑問解消の一助となるのか。

講 師 「my route」に加え「スマートバス停」などの取組により運行情報の可視化に取り組みたいと考えているが、まずは「my route」アプリの認知度向上を課題として認識しており、更なる普及に努めていきたいと考えている。

委 員 運転手不足との課題に対し、御社ではどのような取組に努めているか。

講 師 弊社では 60 歳で定年を迎えた運転手について、68 歳を上限とした再雇用制度を設けているが、運転手不足への対応として上限緩和について検討しているところである。
外国人労働者の就労についても話題になるが、現状では制度面での課題も多く、環境整備が待たれる。

4 議 題

- (1) 令和5年度事業計画（案）について
- (2) 令和5年度歳入歳出予算（案）について

議 長 一括して事務局に説明を求める。

事務局 説明

議 長 質疑を求める。

質疑無し

議 長 挙手により承認を求める。⇒承認される。

5 その他

(1) 認知症にやさしいまちづくり事業について

事務局により説明。

(2) 吉野ヶ里町デマンド型乗合タクシーの指定施設設置について

事務局により説明。

6 閉会